



ウェブサイトでも公開中

市議会の議長、副議長が決まりました

5月17日（火）、第2回市議会臨時会が開催され、選挙の結果、議長に入江幸江議員（未来志行山口）、副議長に富田正朗議員（ふるさと共創山口）が選出されました。

また、常任委員会および議会運営委員会についても、各委員が選任されました。各委員会の名簿等は市議会ウェブサイトからご覧いただけます。



富田正朗副議長



入江幸江議長

市議会事務局 ☎ 0833-9342854

阿東地域で活動する地域おこし協力隊へ任命書を交付

6月1日（水）、阿東地域で活動する地域おこし協力隊の着任式を山口市役所で行いました。

地域おこし協力隊は、総務省が支援する制度で、都市地域在住者に、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこし活動等に取り組ん

でいただきながら、その地域への定着を図る取り組みです。

このたび着任した松戸基緒美さんは、阿東地域で「支え合いの中で誰もが笑顔」で暮らせる地域づくりをテーマに活動し、任期は最長3年間で

着任式で副市長は「本市でも特に少子高齢化が進む阿東地域のさまざまな課題解決に向け、これまでに培ってこられた経験、知識やスキルを存分に発揮していただき、新しい発想をもって、まちづくりや地域経営に果敢にチャレンジされることを期待している」と激励し、松戸さんは「阿東地域で暮らす方に笑顔の花を咲かせ、私自身も人として成長できるような活動をしていきたい」と意気込みを語られました。

現在、本市では松戸隊員を含めて6人の協力隊員が活動しています。

阿東総合支所地域振興課 ☎ 0833-9560117



出席者による記念撮影

vol.3 環境にかしこい選択

COOL CHOICE YAMAGUCHI

今回のテーマは「食品ロス」です。毎日の暮らしの中でも、ちょっとした工夫で食品ロスは減らすことができます。身近な「食」から環境問題について考えてみませんか。

環境政策課 ☎ 083-941-2181

食べ切れる量を、選ぶー

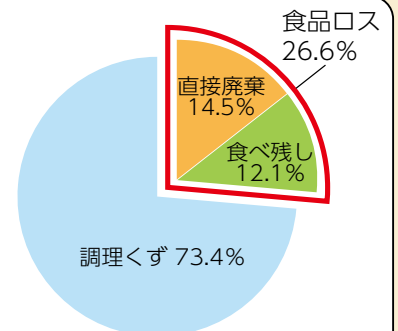
食品ロスとは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。食品の生産から廃棄に至る各過程では多くのエネルギーを消費するため、食品ロスが増えることが、地球温暖化の一因となっています。右のグラフは、令和3年度に行った実態調査で判明した、家庭から燃やせるごみとして出された食品廃棄物の内訳です。食品廃棄物のうち、約1/4は食べ残しや食べずにそのまま捨てられた食品になります。

このような食品ロスを減らすためには、作りすぎないことや買いすぎないことが大切です。また、フードバンク[※]等に食品を寄贈するという方法もあります。

食品ロスを削減するために、一人ひとりが「もったいない」という意識をもって、環境にも家計にも優しい選択を心がけましょう。

※フードバンク

食品ロス削減及び食料支援に取り組む団体。寄贈方法等の詳細はこちらを参照→



▲山口市食品ロス実態調査の食品廃棄物内訳



▲実態調査時に確認された食品廃棄物の写真